



西尾一色ロータリークラブ 創立55周年記念例会

平成29年10月19日(木)
三河湾リゾートリンクス 17:00 点鐘



2017年10月19日 西尾一色ロータリークラブ 55周年記念例会  三河湾リゾートリンクス



磯貝充希 都築磨理 Duo コンサート



記念旅行 長崎 軍艦島と雲仙温泉

西尾一色ロータリークラブ物語 ～永遠の誓い～

語りべふみの会代表 田中ふみえ様

どこまでも広がる大海原、今日も三河の浜辺には穏やかな波が打ち寄せる。いのしえの昔、この地は海の大蛇がおさめたという。豊かなこの海に育まれた我がふるさとに、今から55年前大いなる光がもたらされ、西尾一色ロータリークラブ高潔な職業精神、人と社会への信頼、愛、奉仕、志を共にする誇り高き仲間、生きる喜び、分かち合う喜び、55年にもわたり我がふるさと一色・吉良・幡豆を輝かし、照らしつづける魂を築きあげたのは、尊敬すべき先人の身を捧げる思いがあるからこそ。ここに感謝の思いを込めて捧げます。

～ふるさと♪～

ここはふるさと、良い所。大提灯に目をみはり、吉良上野介、吉良の仁吉、文豪尾崎士郎も生んだ町。あさりにうなぎ、饗庭塩、鳥羽の火祭り炎を上げ、湧き出す清水にいいお酒。そんな一色・吉良・幡豆の地、かけがえのないふるさと、すべてのものは人の心から生まれたもの。大切なものは目に見えないと言いますが、ほんとだなあって思います。きっとロータリークラブの皆様も目に見えない何かを求めてここに集っていらっしゃるのでしょう。

あれは昭和28年、この地に大災害が襲いました。13号台風。多くの人々が命を奪われ、家を失いました。未曾有の大災害に人々は全身全霊で立ち向いました。そしてたくさんの涙を未来への希望に変えました。ふるさとに笑顔を、そんな思いでみんなで助け合って復興を果たしたふるさとの人たち。だからこそ、その7年後、伊勢湾台風が襲来した時には被害を最小限にとどめることができたのです。奉仕の心、ふるさとへの熱い思い、本当の幸せは人助けから。それがきっと西尾一色ロータリークラブの歴史の礎であったと私は思います。

ロータリークラブの歴史は今から112年前にもさかのぼります。場所を申せばアメリカ、シカゴの街。混沌とした社会の中で、ポール・ハリスという弁護士さんが、本当の友達が欲しいということから鉱山技師・石炭商・仕立て屋の4人の仲間を集めました。これがロータリークラブの始まりです。たった4人で始まったロータリー、仲間たちを増やそうとした折に、他の方から外に奉仕をしないような集まりには将来性がないからクラブに入るのをやめまうと言われてしまいます。そこでロータリーのメンバーは奉仕の活動を始めるようになったそうです。よいことをするためにと基金を設置し、最初に集まったお金はたったの26ドル50セント。およそ3,000円。でもその尊さは金額では表せないものだったのだと思います。やがて世界中にロータリーの輪は広がっていきました。

1921年、東京ロータリークラブが加盟。実はその翌年、あの関東大震災が起きているのです。人々は大混乱の中、おびえ苦しんでいました。その際には世界中のロータリークラブから応援の手が差し伸べられたのです。寄せられたあまりのたくさんの寄付に東京ロータリーの人たちは、どれほど驚き感動したことでしょう。これをきっかけにすぐに被災者支援活動が始まりました。日本のロータリークラブが世界のロータリークラブのネットワークを知り、世のため人のためにと人道的奉仕に目覚めた瞬間であったことでしょう。くしくもこの関東大震災よりちょうど1年と1ヶ月、この地に幡豆郡一色町が誕生しています。偶然でしょうか、なんだか深い御縁を感じますね。時は流れ、やがて西尾一色ロータリークラブは大きな光をこのふるさとにもたらすことになるのです。

この幡豆・吉良・一色の地はいにしえより栄えた港町。心を結ぶ絆の深い土地柄でございます。ここに世界と繋がる奉仕の精神を学ぶロータリークラブを設立してはどうかと声があがったのは昭和36年1月、スポンサークラブとなる西尾ロータリークラブに当時360区のカバナーであった山岸勇次郎氏が公式訪問されたことでした。「これからの世の中でよりよい経営をするためには高い道徳観と奉仕の精神は絶対必要だ！そうしたリーダーを育てなくてはならない。よし、一色・吉良・幡豆の3町合併で新しいクラブを設立しよう！」当時の西尾ロータリークラブ会長、後に一色ロータリークラブ特別代表となられる田中正太氏はそう決意されました。松下幸之助や伊藤忠兵衛も会員であったというロータリークラブは日本のどこにいようと社会のリーダーとして国際的な場面でも決して恥ずかしくない紳士的な精神を学ぶことができる尊い場でした。それがこの場所にやってくるのですから、当時の人たちはどれほど期待に胸が高鳴ったことでしょう。こうして昭和37年1月より、西尾ロータリークラブに一色町より倉地友次郎氏、吉良町より嶋崎東平氏、幡豆町より山崎一夫氏の3名が所属されその精神を学び、よりよきロータリアンとしての道を精進して下さったのです。

あけぼのの初日の出が赤々と未来を照らし出す中に一色ロータリークラブ発足の誓いが立ちのぼりました。まず夢を実現させてみせる、それはふるさとの未来を開く誓いでもあったのでしょうか。

初春の澄みわたる空のように希望に満ちた第一歩。こうしておよそ3年計画でクラブ設立への歩みを始めようとされたわけですが、そうは問屋が卸さないドラマがあったのでございます。

ときは戦後の経済成長の真ただ中、この地をとりまく環境も大きな変化の中にありました。あれよあれよと町も経済も人の心もその上大きな台風の襲来を受けたこの地域では人の心は特に新しい風を求めているのです。そんな中、あっちではライオンズクラブ設立の話が持ち上がり、こっちでは新たなロータリークラブを立ち上げようとの会合もたれます。「これはいかん。3年計画などと悠長なことは言っていない、一刻の猶予もない、早く計画を進めなくては」こうして動きを早めた一色ロータリークラブの設立ですが、すぐさま会合を持ち、町長・商工会長・当時の東海銀行支店長の賛同を得て、一色町を中心に呼びかけが始まりました。やがてその年の7月には例会に準じた勉強会を行うことになったのです。誰もが夢や希望に燃えていた時代。まさに一気呵成の勢いでロータリークラブ設立への道が開かれていきます。ロータリークラブの理念、奉仕の精神、誰もがその想いを真剣に語り、伝えたのでした。

あれは稲穂がこうべを垂れる美しい秋のことでした。昭和37年10月27日一色ロータリークラブ創立総会が一色農業会館広場にて開催されました。チャーター伝達式に準じるこの会議は、一色町を中心に30名の会員が集まり、一色・吉良・幡豆より各町長、新聞各社ご臨席の中、厳粛に行われました。昭和37年12月3日、シカゴ本部より承認状が発送。晴れて一色ロータリークラブは、国際ロータリークラブの一員と認められたのでした。なんと2年も待たずして夢の実現が叶ったのです。こうして世界に開かれた社交場がこの地に誕生致しました。ここに一色ロータリークラブの新たな歴史が始まったのでございます。若葉燃える昭和38年5月19日、初代会長森氏・副会長長田氏を柱にメンバー総出で準備を行い、そろいのお着物姿で奥様方も心を合わせ、承認状伝達式が晴れやかに行われました。会場となった一色中学校体育館は人でいっぱい。なんとオープンカーで町を凱旋までなされたそうです。それは町をあげた大イベントでございました。三河地震、13号台風、伊勢湾台風、数々の自然災害を乗り越えて迎えた笑顔。その想いは町中の人たちの涙と希望がこもっていたのでしょうか。一色ロータリークラブ設立はふるさとに灯る尊い光ともなったのでした。

それから長い年月の中で、一色ロータリークラブは発展をとげてゆきました。そこには厳しくも高潔なルールがありました。メンバーになるには推薦がなくてはなりません。それには地域での信頼や人柄のすばらしさがなければ叶いません。また入会してからでもマナーに反することは許されません。だけれど入会したばかりの頃は誰もがヨチヨチ歩きの赤ん坊。みんな先輩方のリードでようやく一人前になってゆけたのです。先輩方の背中に学び、時に厳しい指導に背中が伸びることもありました。時としておごり高ぶり墮落していく心を愛のむちで正して下さった、本当の人格のすばらしさを教えてくださった。そんな先輩達の想いに尊敬の気持ちを抱かないではいられません。

世界にひらかれた海を眺めるこの一色ロータリークラブは、海外との交流をいち早く始めました。昭和46年よりオーストラリアとの交流を行い、交換留学生の支援を行ってまいりました。またアメリカカリフォルニア州サンリアンドロロータリークラブと姉妹提携し交流を深め、交感感覚を学びました。その後も国境を越えて人道支援、緑化活動などを継続しています。また文化芸術の輪を広げようと設立50周年記念事業で、日本藝術院会員の山本眞輔氏の彫刻展を開催。多くの人で賑わいました。こうして四半世紀に渡り奉仕精神を地域に及ぼしてきた西尾一色ロータリークラブ。けれど何を成したかより、そこからメンバーがどれだけ学べたか、人間的に成長できたか、言葉に尽すことはできません。そしてそれが一色・吉良・幡豆の人々の心意気となり、文化や教養を携え、人や地域に尽くすすばらしい人格となって、ふるさとを豊かにしていったのです。人を育て、人格を育み、すばらしい人生の仲間を与えてくださった。そして、この道はどこまで行っても尽きることはない。人間の学びの道。それを持っている人間こそ、最高に幸せではないでしょうか。

ふるさとにもたらされた大なる光。災害を越えて未来を夢見た先人たちの願い。それは今も変わらずふるさとに輝いています。西尾一色ロータリークラブは今年55周年を迎えます。その歴史は永遠の光となって、これからも我がふるさとに輝き続けます。

～ふるさと♪～

おしまい

西尾一色ロータリークラブ・年表55

西暦	和暦	日本・世界の世相	西尾一色RC経過		主なヒット曲	
1960年	S35	「伊勢湾台風」	「森会長/チャーター」		月の法善寺横丁	黒い花びら
1961年	S36	初有人宇宙飛行「ガガーリン」		一色RC設立準備	上を向いて歩こう	君恋し
1962年	S37	マーメイド号サンフランシスコ到着	スタート	10/25 創立 12/3 承認	森会長	王将
1963年	S38	テレビ宇宙中継/ケネディ暗殺			倉地会長	高校三年生
1964年	S39	新幹線/東京五輪			長田会長	アンコ樺は恋の花
1965年	S40	沖縄発進/米軍ベトナム爆撃			嶋崎会長	サントワマミー
1966年	S41	全日空羽田墜落			山田会長	柳ヶ瀬ブルース
1967年	S42	四日市ぜんそく公害訴訟	5周年		三矢会長	ブルーシャトー
1968年	S43	金喜老/寸又峡			杉浦・三矢会長	星影のワルツ
1969年	S44	全学連闘争			鳥居会長	港町ブルース
1970年	S45	大阪万国博			粕谷会長	夢は夜ひらく
1971年	S46	円相場1\$360円が308円			山崎会長	雨の御堂筋
1972年	S47	札幌冬季オリンピック	10周年		倉地会長	瀬戸の花嫁
1973年	S48	トイレットペーパー買いだめ			岡田会長	他人の関係
1974年	S49	田中角栄総理辞表			岩瀬会長	夜空
1975年	S50	ベトナム戦争終結			竹内会長	心のこり
1976年	S51	ロッキード事件			松井会長	横須賀ストーリー
1977年	S52	北方四島・漁業交渉	15周年		鳥居会長	U F O
1978年	S53	日中友好条約			鈴木会長	かもめが翔んだ日
1979年	S54	東京サミット開催			梶川・鈴木会長	関白宣言
1980年	S55	山口百恵/さようならコンサート			江口会長	とまり木
1981年	S56	「ハチの一刺し証言」			山田会長	奥飛騨慕情
1982年	S57	日航機羽田沖に墜落	20周年	創立20周年記念例会(一色公民館)11/26	高須会長	大阪しぐれ
1983年	S58	大韓航空機墜落/ノ連			村井会長	さざんかの宿
1984年	S59	西側だけの五輪/ロス			神谷会長	つぐない
1985年	S60	日航ジャンボ墜落			高須会長	六本木心中
1986年	S61	原発大事故/チェルノ			加藤会長	雪國
1987年	S62	国鉄解体・JR発足	25周年	創立25周年記念例会(一色公民館)10/22	小出会長	北の旅人
1988年	S63	リクルート事件			神谷会長	とんぼ
1989年	S64	昭和天皇崩御 平成1年			小嶋会長	酒よ
1990年	H2	ゴルバチョフ大統領就任			稲吉会長	真夏の果実
1991年	H3	雲仙普賢岳で大火砕流発生		30周年準備 会員60名へあと一歩	小松会長	火の国の女
1992年	H4	大規模小売店舗法施行	30周年	創立30周年記念例会(一色公民館)10/22 コンサート	石原会長	心凍らせて
1993年	H5	皇太子・雅子さま御結婚			鈴木会長	鯛(ひぐらし)
1994年	H6	関西国際空港が開港			磯貝・高須会長	紅の舟唄
1995年	H7	阪神・淡路大震災		IM幹事(三ヶ根グランドホテル)	鈴木会長	夢街道
1996年	H8	羽生善治が将棋のタイトル七冠独占		脱会防止を・・・35周年準備	西脇会長	珍鳥物語
1997年	H9	SONY新メモリー発売	35周年	創立35周年記念例会(一色公民館)10/23 コンサート	長田会長	麗子
1998年	H10	Windows 98発売		姉妹クラブ訪問 米国サンリアンドロRC	都築会長	二輪草
1999年	H11	地域振興券(2万円の商品券)			黒野会長	孫
2000年	H12	三宅島噴火で全島民避難			石川会長	箱根八里の半次郎
2001年	H13	小泉内閣発足		40周年準備 会員55名へGoGo活動	川部会長	サボテン
2002年	H14	東海と三和 UFJ銀行	40周年	創立40周年記念例会(松葉)10/24	松井会長	涙そうそう
2003年	H15	オレオレ詐欺が横行		カンヤ芸能会長活躍	山田会長	世界に一つだけの花
2004年	H16	鳥インフルエンザ/初大流行		植樹奉仕活動	山下会長	キューティハニー
2005年	H17	愛知県で「愛・地球博」が開幕		地球博ROTARY館訪問	小池会長	居酒屋「敦賀」
2006年	H18	荒川静香/トリノ五輪		45周年準備	杉田会長	熊野古道
2007年	H19	作詞家 阿久悠氏 永眠	45周年	創立45周年記念例会(松葉)10/25	神谷会長	千の風になって
2008年	H20	全面禁煙化(まず、タクシーから)		大好評”男の料理”	都築会長	夜明け前
2009年	H21	裁判員制度スタート		会長体調不良9月～	牧野会長	人恋酒場
2010年	H22	小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還		3C例会(笑かを里ショー)松葉	山下会長	おしろい花
2011年	H23	東日本大震災・巨大津波来襲 3町合併4/1		サンリアンドロRC15名一色来訪「伊勢へ」	篠田会長	お前を離さない
2012年	H24	(福島1原発3基メルトダウン)	50周年	創立50周年記念例会(フォーシーズン)10/25 山本眞輔展他	石川会長	雨の裏町
2013年	H25	出雲大社と伊勢神宮がそろって遷宮		西尾一色RCへクラブ名称変更 地区協議会ホスト(ナゴヤキャッスル)	鈴木会長	酒の河
2014年	H26	消費税が5%から8%に増税			山下会長	峠越え
2015年	H27	イスラム国が日本人2人を殺害			笠井会長	ああ あんた川
2016年	H28	ドナルド・トランプ 就任		55周年準備	鳥居会長	九頭竜川
2017年	H29	北朝鮮ミサイル実験多発	55周年	創立55周年記念例会(リンクス)10/19 記念旅行	早川会長	女は抱かれて鮎になる
2018年	H30	平成天皇退位予定				